

保護者の皆様

東京都立青山高等学校長
小澤 哲郎

高大接続改革及びオリンピック・パラリンピック 2020 東京大会を見据えた
青山高校の教育活動について

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

標記の件につきまして、平成30年4月25日付30青山高第169号「新高等学校学習指導要領及び高大接続改革を見据えたこれからの青山高校の教育活動について」及び平成30年10月17日付30青山高第983号「2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を見据えた青山高校の教育活動について外」によりお知らせしたところですが、同大会開催まで1年を切り、令和2年度の教育課程の編成準備の時期を間もなく迎えるこの時期に、下記のとおり、改めて学校の基本的な方針をお示しします。皆様のご理解・ご協力を得るとともに、都教育委員会の支援を確実なものとするにより、教育活動の一層の充実と着実な進路実現を図る決意をお知らせ申し上げます。

記

1 高大接続改革への対応

高大接続改革が目指すものは、以下の3点です。

高大接続改革の進捗状況 平成29年7月13日付文部科学省高等教育局

- (1) 高等学校教育改革
 - ア 教育課程の見直し：新高等学校学習指導要領
 - イ 学習・指導方法の改善と教員の指導力の向上：主体的で対話的な深い学び
 - ウ 多面的な評価の推進：高校生の学びのための基礎診断
- (2) 大学入学者選抜改革
 - ア 大学入試改革（大学入学共通テストの実施） 2020年度3年生から
 - イ 個別大学の入試改革
- (3) 大学教育改革
 - ア 三つの方針に基づく大学教育の質的転換
 - イ 認証評価制度の改善

このうち、高等学校に関わる（1）と（2）について、以下のとおり補足します。

(1) 高等学校教育改革

ア 教育課程の見直し：新高等学校学習指導要領

まず、「何を学ぶか」が中心だった教育課程を、「何ができるようになるか」を明確化することを重視し、「授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、各教科等の目標及び内容を、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で」整理し直しています。

イ 学習・指導方法の改善と教員の指導力の向上：主体的で対話的な深い学びの実現

三つの柱を教科等の指導により実現するために、知識伝達型の授業から、生徒が各教科等の「特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりする」主体的で対話的な深い学びへと転換していくとしています。

ウ 高校生のための学びの基礎診断

生徒の学習成果や課題を、定期的にかつ的確に把握することにより、高校の授業での指導の工夫・充実を図るサイクルを生み出すことがねらいです。

(2) 大学入学者選抜改革

ア 大学入試改革

大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）のポイントの一つは、国語と数学いずれも3問程度導入されることです。令和6（2024）年度からは地理歴史・公民分野や理科分野等でも導入することが検討されています。

国語は、「多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合し構造化して考えをまとめたり、その過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価する」とし、数学は、「図表やグラフ・文章などを用いて考えたことを数式などで表したり、問題解決の方略などを正しく書き表したりする力などを評価する」としています。

英語は、英検などの外部検定試験を活用して、4技能を評価するものに転換されます。報道によれば、認定される見込みの外部検定試験は、英検、GTEC（ジーテック）、TEAP（ティーブ）、TOEFL、ケンブリッジ英語検定、IELTS（アイエルツ）の6種類（※）です。すでに英検等を受験していても、高校3年生の4月から出願までの間に受験することになりました。2回まで受験できます。共通テストの英語試験は、令和5（2023）年度までは継続することが決まっています。

※本年7月にTOEICが撤退を表明したため、6種類に減ったとの報道がなされました。

イ 個別大学の入試改革

この改革では、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を含む「学力の3要素（①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等）」を多面的・総合的に評価するため、一人一人が積み上げてきた大学入学前の学習や多様な活動等に関する評価の充実を図ることを目的に、調査書や提出書類等の在り方を見直すとしています。

2 青山高校の教育活動

本校では、平成29年度から自校作成問題に共通テストを見据えた新傾向の問題を導入しました。加えて、翌平成30年度からは、シラバスに学習到達目標を設定するとともに、校内学力テストと定期考査に思考力等を問う問題を出題し始めました。そして、今年度からは、以下のような取組を強化しています。

○ 令和元年度からの新たな取組

- (1) シラバス（年間指導計画）の「**学習到達目標**」の**精度向上**を図り、生徒が目的意識をより強くもって学習に取り組めるよう工夫するとともに、学習到達目標をより詳細に策定して、学校独自の評価規準へと昇華させていく。
- (2) **共通テストを見据えた学力検査自校作成問題を継続**するとともに、主体的で対話的な深い学びを実現するため、思考力等を問う記述式問題、共通テストを見据えた新傾向の問題、初見の問題を出題するなど、校内学力テストや定期考査を一層改善するとともに、特に**校内学力テストは、模擬試験に優る進路指導資料へと昇華**させていく。
- (3) ホームルーム活動において、eポートフォリオに対応した学習や活動等の**振り返り**の指導を計画的に継続するとともに、生徒の話合いや発表などの主体的活動の重視や、**生徒の可能性の伸長に関する教職員の期待の定期的な表明**などにより、学ぶことの喜びの実感と知の探究への意欲を一層高めていく。
- (4) 令和4（2022）年度から学年進行により実施する、新高等学校学習指導要領に即した教育課程の編成に先立ち、平成30年7月11日付30青山高第628号校長決定「新教育課程編成方針について」に基づいた、**新教育課程のグランドデザインの策定に着手**する。

(1) シラバスの精度向上

学校ホームページに公開している「授業評価結果」のとおり、いずれの教科・科目においても、「授業に自分なりの課題や目標をもって取り組んでいる」生徒は、その圧倒的多数が「授業で覚えた知識・技能を活用する機会が与えられ」、「授業によって学力や技能の向上を実感している」ことが実証されています。シラバスを改善し、生徒がより明確に目的意識をもって学ぶよう導いていくことが学力向上の鍵であり、進路実現の重要な要素であることは明白です。

(2) 自校作成問題、校内学力テストや定期考査の工夫・充実

共通テストのマーク問題は難化し、二次試験対策とは別に共通テストの記述式問題への準備も求められます。共通テストで8割以上の得点を取るためには、日ごろから共通テストを見据えた学習を積

み重ねていくことが不可欠です。本校では、平成 29 年 5 月までに共通テストに向けた対策を検討し、共通テストに対応した学習指導が実践できることを示すため、平成 30 年度入学者選抜の学力検査の自校作成問題の工夫を行いました。これを継続していくとともに、思考力等を問う記述式問題、共通テストを見据えた新傾向の問題、初見の問題を出題するなど、校内学力テストや定期考査の一層の工夫・改善を行い、その結果を授業にフィードバックして、生徒の学力伸長に活かすというサイクルを確立します。将来的には、校内学力テストを中心とした進路指導の確立を目指して参ります。

(3) 学習や活動等の振り返りの指導

入学段階から定期的に自分の学習や活動等を振り返ることができるよう、ホームルーム活動の年間指導計画に「学習や活動等の振り返りの時間」を位置付け、節目ごとに生徒に「振り返り」を行わせ、発表や話し合い活動をとおして、記録を積み重ねていけるよう計画的に指導しています。その際、eポートフォリオ（活動等の記録をWeb上に蓄積する仕組み）を活用して参ります。

また、生徒の学習や進路に関する教職員の期待を、定期的に表明したクラスの進路実績が高いことが証明されていることから、ホームルーム活動はもちろん、すべての教科・科目の授業においても、同様の取組を行うようにしています。

(4) 新教育課程のグランドデザインの策定

令和 4（2022）年度から学年進行により実施される新高等学校学習指導要領に則り、本校の同年度以降の新教育課程を編成するに当たり、次の二つの方針を決定しました。

①難関国公立大学に進学する生徒を含め、全ての生徒の進路希望に合致する教育課程を策定する。

②新高等学校学習指導要領に示された標準単位数を原則とする教育課程を策定する。

新高等学校学習指導要領は、上記 1（1）で記述したとおり、「何ができるようになるか」を明確化し、学習指導を主体的で対話的な深い学びへと転換していくことをねらいとしています。青山高校のグランドデザインは、「生徒が学ぶことに喜びを見出し、生涯にわたり学び続ける意欲と態度が育まれる」よう、教員が「教えることの喜びと青山高校に奉職することに誇りをもてる」学校を目指すという学校経営計画を実現するための道標として策定するものです。

3 オリンピック・パラリンピック 2020 東京大会を見据えた教育活動

(1) オリンピック期間中の基本的方針

銀座線外苑前駅が観戦者の動線になること、隣接する國學院高校が学校閉庁とすることなどを鑑み、生徒の安全確保の観点から、オリンピック大会期間中の教育活動は、原則として学校外で実施します。

令和 2 年度の 3 年生（現在の 2 年生、73 期生）は、初めての共通テストを受験する学年であることから、特に、本校教員が実施する夏季講習の実施と自習室の確保を最重点に計画します。

◎ オリンピック期間中 令和 2（2020）年 7 月 24 日から 8 月 9 日まで※ 1

- ・大会期間中は学校閉庁とします。※ 2（隣接する國學院高校も同様です。）
- ・第 1 学期の終期を 5 日繰り上げ、7 月 15 日（水）に終業式を行います。
- ・教育活動は、代替施設等を利用して継続します。
- ・警視庁警察官の待機場所として自習室を、警察車両の駐車場所として正門前駐車場を、都市ボランティア拠点として和室と大会議室を提供します。
 - ア 夏季講習 一部を大会前に、期間中は都立六本木高校を会場に実施します。
 - イ 自習室 プレ実施を踏まえ、代々木ゼミナールと御茶ノ水ゼミナールの協力を得て、期間中の自習室を確保します。
 - ウ 部活動 各部活動で他の都立高校等を会場に実施します。夏季合宿は、電車等公共交通機関を利用して実施します。※ 3
 - エ 外苑祭準備 外装準備等の会場設営に関する活動は、大会終了後から取り組みます。
 - オ 競技観戦 1 年生は 8 月 2 日（日）、2 年生は 8 月 5 日（水）、3 年生は 8 月 6 日（木）に、いずれも新国立競技場で陸上競技を観戦します。※ 4
 - カ ボランティア 希望者が参加できるよう、都教育委員会に働きかけを行っています。

※ 1 警視庁への協力は、開会の前日から閉会の翌日まで、1 日当たり 24 時間行います。

※ 2 教育活動を行わない「学校閉庁」ではなく、安全確保のために一斉登校を避けるという趣旨です。

※ 3 当該年度に、夏季合宿を行わない部活動もあります。

※ 4 日曜日の観戦は、授業日として扱います。

(2) パラリンピック期間中の基本的方針

パラリンピック期間中は、通常の教育活動を行います。令和2（2020）年8月24日（月）に始業式を行います。

- ◎ パラリンピック期間中 令和2（2020）年8月25日から9月6日まで※1
- ・警視庁警察官の待機場所として用務室を、警察車両の駐車場所として正門前駐車場を提供します。※2
 - ・ボランティア希望者には、外苑祭終了後、残余の期間で参加できるようにします。
- | | | |
|---|--------|---|
| ア | 2学期始業 | 8月24日（月） |
| イ | 外苑祭 | 8月29日（土）及び30日（日） 片付け8月31日（月） |
| ウ | ボランティア | 振替休業日の9月1日（火）及び2日（水）と、9月6日（日）に、希望者が参加できるようにします。 |
| エ | 外苑祭後 | 9月3日（木）、4日（金）、5日（土）は平常授業 |

※1 警視庁への協力は、開会の前日から閉会の翌日まで、1日当たり24時間行います。

※2 警察車両の駐車場所の提供は、外苑祭準備に支障がない範囲で実施します。

(3) その他

ア 新国立競技場オープニングセレモニー

令和元年12月21日（土）に、新国立競技場のオープニングセレモニーが行われます。このイベントに1年生全員が、「人間と社会」の授業の一環としてパレードなどに参加します。また、2年生については、部活動に加入している生徒の参加を促します。3年生については、希望者の参加を歓迎します。新国立競技場の目の前に所在する青山高校ならではのことで、多くの生徒の参加を期待しています。

イ 青山ストリート装飾

オリンピック・パラリンピック2020東京大会の機運醸成に資するよう、本年7月22日より、児童・生徒による絵やデザインに基づいたストリート装飾を、スタジアム通りに面したフェンスに掲示しています。本校だけでなく、青山小学校、青山中学校、青山特別支援学校の児童・生徒たちの生き生きとした絵やデザインが、東京大会の1年前からスタジアム通りを彩っています。

ストリート装飾は、コンテスト形式で昨年末から募集を開始し、今春に審査を行って入賞作品を選考、今年度に入って製作・展示するに至りました。審査は、一般財団法人日本青年館、明治神宮外苑、独立行政法人日本スポーツ振興センター、一般財団法人高度技術社会推進協会「TEPIA」、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会、國學院高等学校、外苑前商店会、原宿一丁目町会、高德寺、神宮二丁目自治会の皆様に行っていただきました。青山ストリート装飾を、オリンピックレガシーとして次代に引き継ぐとともに、外苑前地区の教育機関、諸団体との連携を一層強化し、文化・スポーツに係る活動を継続的に展開して参ります。

ウ 創立80周年記念

令和2年1月18日に創立80周年を迎えます。これを受けて、80周年記念誌を編纂するとともに、同年11月6日（金）に、日本青年館ホール（1,249名収容）において記念式典を挙行政します。記念式典は2部構成とし、生徒による10年の歩みのプレゼンテーションや青山フィルハーモニー管弦楽団による演奏など、生徒中心の内容とする計画です。すでに、実施要項等を策定し、今後、具体的な準備作業に取り掛かって参ります。青山高校の進学実績が大きく伸長したこの10年間を振り返り、よき校風と伝統を次代に引き継ぐことのできる、生徒や保護者の皆様の記憶に永く残る式典にしたいと考えています。

4 その他

- (1) 教育活動の充実には、保護者の皆様のご理解・ご協力が不可欠です。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。
- (2) ご不明な点がございましたら、以下の担当までお知らせください。

【担 当】

副校長 瀧本 秀人

電話 3404-7801